

平成 29 年度 事業概要及び報告

1 はじめに

当財団は、設立趣旨ならびに寄付行為に基づき、首里城に関する展示資料の収集等を目的とした首里城基金が設置され、基金の造成、管理及び運用の諸事業を実施している他、首里城公園等に関する調査研究、普及啓発等の事業を行っている。詳細については、下記のとおりである。

2 財団の事業概要 (※一部抜粋)

◆首里城に関する調査研究事業

- (1) 正殿漆塗装関連資料の調査研究
- (2) 在外首里城関連文化財の調査研究
- (3) 御後絵の調査研究
- (4) 首里城正殿三御飾等道具の調査研究
(道具類の製作及び往時の製作技法の復元)

◆首里城に関する普及啓発事業

- (1) 琉球王国関連資料の展示
- (2) 首里城講座の実施
- (3) 首里城見学会の実施
- (4) 図録や小冊子等印刷物の発刊
- (5) 出前講座
- (6) 体験学習会の実施
- (7) 地元団体との連携事業の実施
- (8) 職場体験、研修生等の受け入れ

◆その他の事業

- (1) 共同研究事業の実施 (大学等)

3 平成 29 年度事業報告

1) 首里城に関する調査研究事業

(1) 首里城の歴史、伝統美術品等に関する調査研究

① 御後絵復元製作

首里城公園友の会によって調査・製作された「尚育王御後絵」に続き、当財団にて「尚灝王御後絵」の模造復元製作を行った。続いて、「尚穆王御後絵」の模造復元製作を行う。平成 29 年度は、線描の抽出、画像の鮮明化作業などの画像資料の分析のほか、本紙の線描転写を行った。また平成 28 年度に完成したデジタル複製「尚灝王御後絵」に表装具の装丁を行い完成した。

② 在外首里城関連文化財の調査研究

過年度に作成したデータベースの整理を行い、基礎調査報告書を作成した。

③ 首里城正殿三御飾復元制作業務

かつて首里城正殿において正月儀式で使われていた「三御飾道具及び御床飾道具」の復元製作を実施した。漆芸器類では平卓(猫足)の螺鈿加飾を実施し完成した。また軍配・采配については、木地の漆塗りを行い、房・紐部分の糸染めを行った。

(2) 首里城正殿漆塗装材等に関する調査研究

正殿等復元建造物の維持管理技術に関する調査研究では、漆等塗装材として使用する為、安定的な塗料開発を行う為、扁額用朱顔料の耐候性試験及び琉球産弁柄についての焼成試験等を実施した。

2) 首里城に関する普及啓発事業

- (1) 南殿二階特別展示室及び黄金御殿特別展示室において、首里城や琉球王国の歴史、文化、美術工芸等を紹介する首里城公園企画展「琉球王国のもよう～花鳥風月の楽しみ～」 「琉球王国の祭祀道具」 「御後絵～鮮やかに蘇る尚瀨王の肖像画～」 「琉球王国のもよう～王国の技～」と題し、季節に合わせた展示会を開催した。
また、「首里城公園開園 25 周年記念 沖縄県立博物館・美術館開園 10 周年記念 特別展 首里城の 25 年～平成の復元～」と題し、首里城公園と沖縄県立博物館・美術館と連携し展示会を開催した。
- (2) 首里城を中心とする琉球の歴史文化について県民に広く普及啓発し、首里城公園の利用促進するため首里城講座を実施した。
- (3) 来園者の入館促進及び満足度向上を目的とし首里城見学会を実施した。公園内施設の詳細な解説を行ったほか、年間 4～5 回程度行われる企画展の展示の解説会や日影台（日時計）の時間測定体験など様々な見学会を実施した。
- (4) 那覇市の協力を得て、琉球国王であった尚家に伝わる古文書類（家譜）の複製製作を行った。
- (5) 清代琉球史料選編刊行助成は、台湾國立故宮博物院に所蔵されている中国清代の琉球関係行政文書の史料集刊行の為、助成を行った。
- (6) 沖縄の歴史文化に関する知識の普及啓発を推進するため、県内の小・中学生の歴史文化学習に対し助成を行った。
- (7) 首里城公園の普及啓発を目的として那覇市内の小学校・中学校・高校を対象に出前講座を実施し、パンフレットやワークシートを活用し琉球の歴史文化や首里城公園内の各施設について解説を行った。
- (8) 首里城公園の支援団体である「首里城公園友の会」が主催する文化講演会、親子体験会、イヌマキ育樹等の事業実施に対して助成を行った。
- (9) 浦添市美術館で開催した国立歴史民俗博物館企画展「URUSHI ふしぎ物語-人と漆の 12000 年史-」に協力し資料の貸出を行ったほか、那覇市歴史博物館等の博物館施設へ資料の貸出を行った。